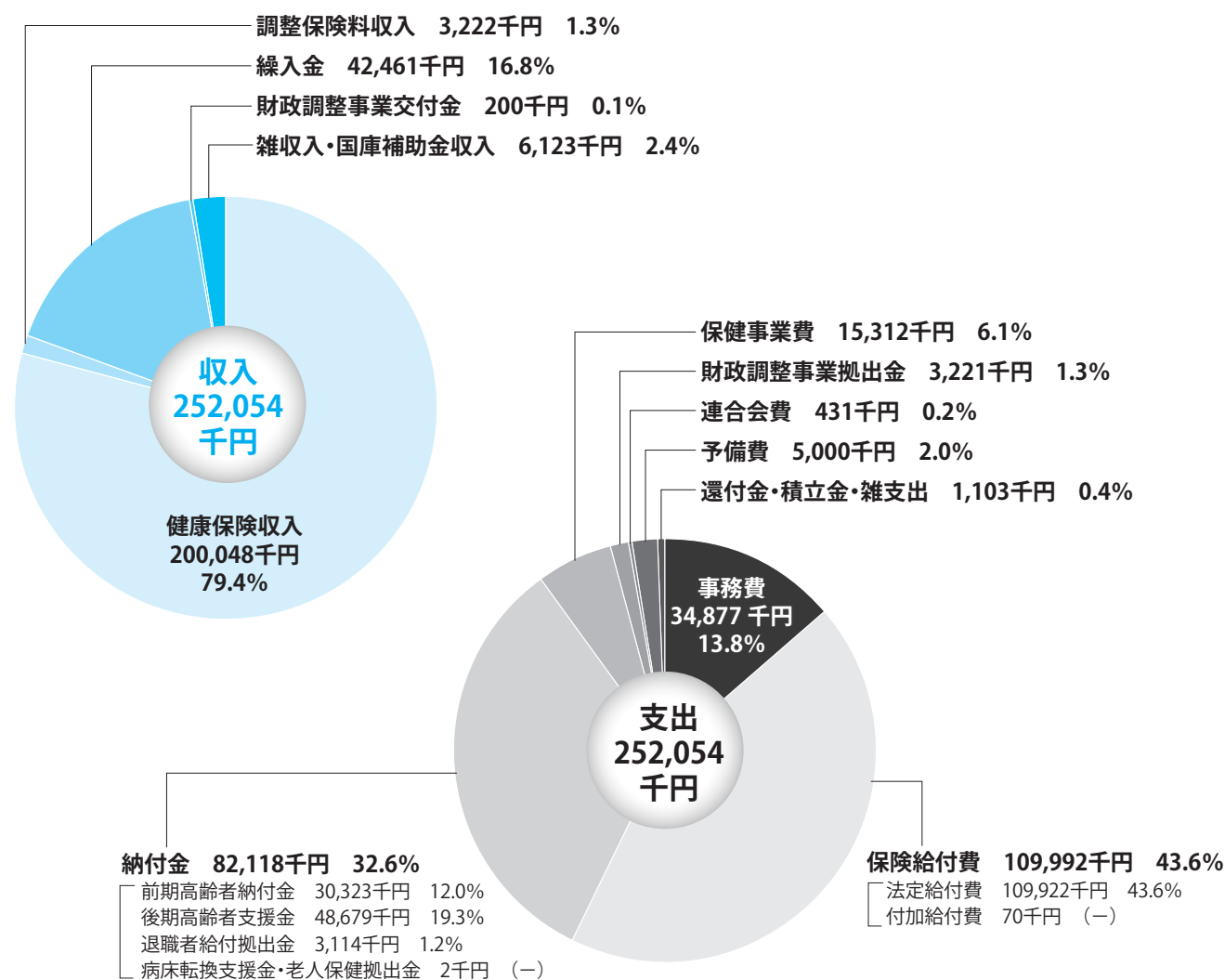


収支の割合



平成29年度 健康づくりのお手伝い

当健保組合では、みなさんの健康づくりをお手伝いしてまいります。
健診など、以下の事業を積極的にご活用ください。

保健・衛生知識の普及のために

- ホームページの開設
- 医療費通知（3カ月ごと）
- 保健図書配布（新人対象）

病気の予防のために

- 特定健診・人間ドック
40歳以上の被保険者・被扶養者を対象に
年1回実施
- 特定保健指導
対象者に実施
- 生活習慣病健診
被保険者・被扶養者全員を対象に実施
- インフルエンザ予防接種費用補助
年1回（1500円を補助）
- 家庭用常備薬の斡旋
年1回（1500円を補助）

リフレッシュのために

- 契約保養所の利用補助
被保険者および被扶養者を対象に年間2泊まで、1泊につき4千円を限度に補助

平成29年度予算と事業計画決まる

6年連続の赤字予算に

去る2月28日に開催された第64回組合会において、当健保組合の29年度予算と事業計画が可決・承認されましたので、そのあらましをお知らせします。



収入

29年度の予算総額は2億5205万4千円です。これは前年度より162万円少ない額です。収入のおよそ80%が事業主とみなさんから納めていただく保険料収入（調整保険料除く。国庫負担金収入含む）です。前年度より865万9千円少ない2億4万8千円を見込んでいます。また、増大する支出に対応するために、積立金を取り崩して4246万1千円を繰り入れしました。



支出

支出の43・6%は、みなさんやご家族の医療費や各種給付金に充てられる保険給付費です。前年度より650万9千円多い1億999万2千円を計上しています。

また、健康保険組合は高齢者医療制度を財政的に支えるために後期高齢者支援金や前期高齢者納付金等を負担しており、これら他制度への29年度の納付金は前年度より251万2千円少ない8211万8千円です。前年度より減少しましたが、それでも支出全体の32・6%を占め、依然として大きな財政的負担となっています。みなさんの健康づくりをサポートするための事業として、保健事業費には1531万2千円を計上しております。今年度も、健診および保健指導を実施して、加入者のみなさまの健康管理をサポートしてまいります。早い段階で生活習慣病の兆候を見つけて出すと同時に、保健指導を通して病気の重症化を予防することを目指します。

以上の結果、29年度は3767万3千円の赤字となりました。これで6年連続赤字の予算編成となりました。収支を均衡させるために、これまでは積立金を取り崩して収入を補ってきました。しかし積立金にも限りがあるため、今後は保険料率の改定も検討する必要があります。健康保険組合は厳しい財政状況にあります。健康保険組合の財政を安定させるためにも、ジェネリック医薬品の活用などみなさまのご協力をお願いいたします。また、何よりもご自身とご家族のために、健康的な生活習慣を心がけて病気を予防するよう心がけてください。